

おすすめの図書

“夢” と “技術”

『音の記憶 技術と心をつなげる』
小川理子【著】1,485円（税込）
文藝春秋（2017/2/27）/232p
四六判 上製 上製カバー装
（写真出典：文藝春秋より）



こだわり抜いた技術は、実は夢を見ている子どものように、何も見返りを求めているわけではない時間のようです。

先生の勧める著書はジャズピアニストであり、パナソニックの役員である小川理子さんの「音の記憶 技術と心をつなげる」（文藝春秋社、2017年）です。

まず、小川理子さんは先生と同じ慶應義塾大学理工学部卒です。理系の子は、電子工作とかアマチュア無線、自動車、バイクとかが好きな子も多いですが、バンドをやったり、ピアノ、ギターなど音楽好きもたくさんいます。（余談ですが、先生の真ん中の子どもも理工学部卒ですが、音楽好きで、その道で仕事をして苦労しています。）

本の内容を全て言っても「つまらない」と怒られるので、理子さんのすごいところを言います。

- （1）本当のジャズピアニストです。理子さんは、音楽好きの家庭で育ち、おなかの中にいるときから「音」に触れて、育ちました。今までに9枚のCDを出し、ジャズの本場、アメリカからのオファーもありました。
- （2）本当の技術者です。理工学部で出会った研究論文から、音が人間にどう受け止められてなぜ美しいと感じるか？ という研究に興味を持ち、音の研究に没頭します。その興味のままパナソニックの音響研究所に入り、研究を続けます。（興味と仕事との両立がうらやましい限り！）音へのこだわりはバツグンで、パナソニックの音響研究所でいろいろと開発しています。
- （3）時代の嵐の中で生きています。アナログからデジタルへの変化の中、差別化が進み、安くてもそれなりの物が手に入る中、組織ごと無くなってしまうこともありました。
- （4）「テクニクス」ブランドを再興させた人です。デジタル化の波があり、ほとんど仕事を失いかけた時もジャズピアニストとしての活動が続けていたところ、「テクニクス」*（日本製オーディオの超原点となるブランド）の復活を任されました。（このシーンは圧巻です！！）
- （5）理系出身の女性で、パナソニックの役員です。ジャズピアニストとの2足のわらじを履いても、このキャリアパス！！

*ジュニアメンバーの人は知らないでしょ。お父さんとかに「テクニクス」っていうオーディオ知ってる？ と聞いてみてください。ステレオセット500万円もするんだよ！ この開発の場面は本当、ジェットコースターの気持ちで、「こんな仕事したい」「こんな時間を生きてみたい」と思うと思います。

さて、何の話かって?? 要は「音」にこだわった彼女の夢のような人生、それが仕事でもあるというお話です。

人生当たり前だけど1度しかありません。楽（らく）をするのではなくて、楽しく生きるために、何事にも一生懸命に生きている小川さんのような人になるのはどうでしょうか？

夢を見る人、女性で仕事をする人に贈る、あきらめない情熱の本です。夢をどっかに忘れたおじいちゃんの先生も本当に、わくわくして読みました。

ジュニア会員の皆は、勉強もしてスポーツも、音楽や趣味も持って、楽しくて心が躍るような人生を自分で手に入れる、大きな大きなヒントとなる一冊です。

（慶應義塾大学 山中直明）

～山中先生からのプレゼント～

この記事を読んで興味を持った人1名にこの本をプレゼントします。

yamanaka@keio.jpに一言つけて、メールを4月末までに送ってください。

レスポンスしますので！